



おくたま

第203号

令和4年11月5日発行

町議会だより



原島 匠・書

編集・発行 奥多摩町議会 電話 0428-83-2302(直通) 奥多摩町ホームページ <http://www.town.okutama.tokyo.jp/>

第3回定例町議会

第3回定例会は、9月6日から9月16日までの、会期11日間にわたり開催されました。

令和3年度の各会計決算は、本会議初日に提案され、延べ4日間にわたり行われた決算審査について、代表監査委員松永健太郎氏による審査報告の後、議長と議会選出監査委員を除く10名で構成する決算特別委員会に審査が付託されました。9月13日、14日の2日間にわたり開会された決算特別委員会では、内容説明、質疑等が行われ、16日の本会議で採決の結果、次の全8会計決算とも全議員の賛成により認定されました。

- 認定第1号 一般会計
- 認定第2号 都民の森管理運営事業特別会計
- 認定第3号

山のふるさと村管理運営事業特別会計

○認定第4号

国民健康保険特別会計

○認定第5号

後期高齢者医療特別会計

○認定第6号

介護保険特別会計

○認定第7号

下水道事業特別会計

○認定第8号

国民健康保険病院事業会計

決算審査報告（監査委員）

令和3年度の奥多摩町における全8会計の決算書類は、関係法令に準じて作成されており、関係帳簿及び会計伝票並びに証明書類とも照合の結果、決算の計数に誤りはなく、預金残高とも符合し、基金の運用状況及び予算の執行も適正かつ正確であり、歳入、歳出とも妥当であったことを認める。

《令和3年度、奥多摩町における

健全化判断比率算定書類及び資金不足比率算定書類に関する審査の結果》

算定基礎事項を記載した書類とチェック表とを照合の結果、計数等は、全て正確で、適正に書類が作成されていた。その結果、健全化判断比率及び資金不足比率についてはともに良好であると認める。

決算特別委員会質疑

決算特別委員会では、次のことについて、質疑を行いました。

○一般会計

- ・ふるさと納税寄付金・一般分の内容
- ・固定資産税未納者の実態
- ・職員研修の内容
- ・防犯灯電気料自治会補助金の内容と今後のLED化
- ・ふるさと納税業務委託の内容
- ・少子化対策事業費の内容
- ・地域ささえあいボランティア事業の内容と今後の取り組み

- ・高齢者見守り相談事業の内容
- ・介護保険事業費の内容
- ・ファミリーサポートセンター事業の内容
- ・環境保全等看板設置工事の内容
- ・国民健康保険税の値上げを一年遅らせたことによる影響
- ・生ごみ処理容器補助金の内容
- ・農作物有害鳥獣対策事業の内容
- ・観光ごみ対策実証実験回収の実績と今後の予定
- ・奥多摩小屋跡地の活用
- ・緊急捕獲委託(特別捕獲)と市町村捕獲の内容
- ・ツキノワグマ緊急対策事業の内容
- ・環境政策推進事業(木材買い取り事業)の内容と今後の展開
- ・ワラビ栽培管理業務委託の内容と今後の展開
- ・準中型自動車免許取得補助金の内容
- ・雨量観測システムの内容
- ・耐震性貯水槽設置工事の内容
- ・第一分団丹三郎詰所実施設計委託の内容

- ・ワサビ田災害復旧工事の内容
- ・文化会館ベビーシート設置工事の内容
- ・準要保護等児童就学援助事業費の内容
- ・中学校制服について
- ・古里小プール監視業務委託の内容

- 国民健康保険特別会計
- ・被保険者短期証、資格証明書の発行状況
- ・未納者に対する町の対応
- 介護保険特別会計
- ・介護予防事業の効果
- ・一般介護予防事業(運動機能向上トレーニング)の内容
- ・シニア筋トレルーム「にっ古里」駐車場について

町長提出議案と結果

次の議案が提出され、いずれも議員の賛成多数により、原案のとおり承認、可決されました。

【 条 例 】

- 議案第44号
奥多摩町町税賦課徴収条例等の一部を改正する条例
- 議案第45号
奥多摩町議会議員及び奥多摩町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例

- 議案第46号
奥多摩町一般職の職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

【 報 告 】

- 報告第2号
令和3年度決算における奥多摩町健全化判断比率
- 報告第3号
令和3年度決算における奥多摩町資金不足比率
- 報告第4号
奥多摩町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検及び評価(令和3年度分)

【 補正予算 】

- 議案第47号
一般会計(第2号)
- 議案第48号
都民の森管理運営事業特別会計(第1号)
- 議案第49号
山のふるさと村管理運営事業特別会計(第1号)
- 議案第50号
国民健康保険特別会計(第1号)
- 議案第51号
後期高齢者医療特別会計(第1号)
- 議案第52号
介護保険特別会計(第1号)

【 契 約 】

- 議案第53号
氷川溪谷遊歩道災害復旧工事請負契約の変更

【 人 事 】

- 議案第54号

奥多摩町教育委員会教育長の任命の同意

教育委員会教育長 若菜伸一氏の任期満了に伴い、次の方を任命することに同意しました。

・野崎 喜久美 氏(新任)

(羽村市栄町1丁目1番地34号)

○議案第55号

奥多摩町教育委員会委員の任命の同意

・小峰 一郎 氏(再任)

(奥多摩町氷川425番地)

陳情の取扱い

審議されたのは、陳情1件で、次のように決定しました。

― 不採択としたもの ―

○陳情第2号

建設アスベスト被害の全面解決へ、アスベスト建材製造企業の基金拠出等、「特定石綿被害建設業務労働者等に対する給付金等の支給に関する法律」の改正を求め、国への意見書を求める陳情書

賛否が分かれた議案

※議長は、裁決に加わらないが賛否同数の場合は議長が決裁します。

陳情第2号については、経済厚生常任委員会にて「不採択すべきもの」と決定して本会議3日(9月9日)に「不採択」とすることに賛成か反対の採決を諮りました。

【賛成・・・○ 反対・・・×】

議席番号	議員名	議案番号	陳情第2号
12	原島 幸次		○
11	高橋 邦男		※
10	宮野 亨		○
9	石田 芳英		○
8	小峰 陽一		○
7	澤本 幹男		○
6	大澤由香里		×
5	木村 圭		○
4	小山 辰美		○
3	相田恵美子		×
2	森田 紀子		×
1	伊藤 英人		×

一般質問

- 澤本 幹男議員(4ページ)
 - ・氷川地区と古里地区の人口差550人について
 - ・地籍調査事業について
- 石田 芳英議員(4ページ)
 - ・ICTによる獣害対策について
- 相田恵美子議員(5ページ)
 - ・奥多摩町における投票支援について
- 木村 圭議員(5ページ)
 - ・学校運営協議会、小学校のあり方検討委員会について
- 原島 幸次議員(6ページ)
 - ・災害弱者の逃げ遅れの防止について
- 宮野 亨議員(6ページ)
 - ・サニタリーボックスを男性トイレにも設置を
 - ・心の豊かさと幸福度について
- 小山 辰美議員(7ページ)
 - ・人口減少に負けない奥多摩町を目指して
- 伊藤 英人議員(7ページ)
 - ・奥多摩町の庁舎建設、将来像、シビックプライド、ローカルアイデンティティ、SDGsについて
- 森田 紀子議員(8ページ)
 - ・核シェルターについて

令和4年第3回定例会では、10名の議員が一般質問を行いました。

ここでは、紙面の都合により、内容を要約して質問者順に掲載しています。質問・答弁の全文は、11月中旬頃より、ホームページで閲覧できます。(町ホームページ～町議会～会議記録(結果))町ホームページは、スマートフォン・タブレット端末等でもご覧いただけます。また、町内各図書館でも会議録をご覧いただけます。

QRコード



- ・奥多摩町における外国人施策について
- 大澤由香里議員(8ページ)
 - ・治療と仕事の両立支援について
 - ・青梅線のワンマン化について



新井 清澤 幹男 議員

問 1 氷川地区と古里地区の人口差550人について
2 地籍調査事業について

答 1 引き続き少子化対策と定住化対策を推進する
2 境界確認ができない「保留地」の解消に取り組む

質問1 今年7月1日の奥多摩町の人口は4815人で特養ホーム等を除く人口で氷川地区が1842人、古里地区が2392人と人口差550人である。この差は10年前から拡大している。少子化対策を推進してきて、古里地区に偏ってしまったわけではないが、この氷川地区と古里地区の人口差550人の現状をどう受け止めているのか、これからの様な具体的人口対策をとっていくのか。

町長1 町の人口は昭和30年の誕生時1万5千人を超えていた。町では最大の課題である人口減少への取り組みとして少子化対策と定住化対策を積極的に推進してきた。氷川地区は奥多摩駅周辺一帯が若者定住促進ゾーンであり、定住対策用地や空き家情報収集して活用を図り引き続き人口減少対策等各種施策を推進していく。

質問2 町では地籍調査事業を平成17年度日原地区から開始し、古里地区は大丹波、川井、梅沢、丹三郎、小丹波、棚沢、白丸の順に進められたが、同じ古里地区でも全て完了して登記所へ送付まで終了している地区もあればそうでない地区もある。終了予定はいつ頃か。現状状況は。平成17年度から16年経過しているが作業を早く進める方法はないのか。

町長2 町は土地所有者の協力により毎年計画的に調査を実施してきている。しかし土地所有者の境界確認の立会いが行われない場合、保留地となりその保留地解消を図りながら進めるため時間を要している。境界の確認ができない場合は筆界(ひっかい)未定となるが、保留地を筆界未定とした場合はその隣接地も筆界未定となる。終了は令和23年度予定。今後は調査や立会いの連絡調整をスムーズに行い、諸課題に取り組む保留地の解消・解決に努める。



会 民ファーストの会 石田 芳英 議員

問 ICTによる獣害対策について

答 効果等検証して検討していく

質問 今年クマ、サル、シカ、イノシシなどの出没件数が多くなり、苗木や作物などの被害が多くなっている。対策としては電気柵の設置、カカシ設置、獣感知センサーと音による威嚇の器具などで対応されているが、動物も慣れてくると対応行動をとるようになり、次第に効き目が減少してくる。獣害被害により、営農意欲の減退、耕作放棄地の増加、離農などの影響が危惧され、さらに、野生動物と人間の距離が接近し、住宅地にも出没することから人への被害も今後懸念される。他の所ではICTを活用した『鳥獣対策監視システム』や『アニマルウオッチャー』と捕獲機械の運用や、『囲い罠による捕獲』など、ICTを活用した対策事例が見受けられる。①奥多摩町における野生動物の生息数と年間捕獲件数は。②ICTを活用した獣害対策の所見について。

町長1 東京都管理計画によると多摩地域におけるニホンジカの生息数約3千5百頭と推定、東京都調査によると、奥多摩町におけるニホンザルの生息数は約200頭、ツキノワグマの生息数は約100頭から200頭と推定される。その他の野生動物の町内における生息数は把握できていない。令和3年度の捕獲実績としては、ニホンジカ270頭、イノシシ15頭、サル0頭、ハクビシン16頭、タヌキ20頭、アナグマ0頭、アライグマ14頭、ツキノワグマ2頭となっている。

町長2 同じ獣害被害に悩む全国の自治体においてICTを活用した様々な獣害対策が行われている。猟友会の捕獲作業の効率化や負担軽減につながるものでもあり、猟友会の意見も聞き、またICTを活用した獣害対策を行っている自治体の効果なども検証しながら、検討していく。



ガジュマルの会
あいだえみこ議員
相田恵美子

問 奥多摩町における投票支援について

答 選挙管理委員会と連携しながら推進

質問平成25年に公職選挙法が改正され成年被後見人の選挙権が回復したことで、投票支援という課題も表面化してきた。この7月にNHKのハートネットTVで放映された「みんなの選挙」は反響も大きく、投票支援のあり方が問われていると痛感した。

障害者に限らず高齢者が半数である奥多摩町では、平等にそしてスムーズに投票が行われる機会の確保は大切である。すでに町は投票時の送迎を行っており、投票支援に前向きな姿勢である。

①障害のある方、高齢者の方の選挙時の合理的配慮は。②記号式投票の導入は今後必要となると思うが町の考えは。③中山地区、小河内地区等の投票時の送迎は、他の地区にも拡充すべきだと思うが。

方への投票支援（サポート）や各投票所では眼鏡、ルーペ、杖ホルダーの設置などを行っている。高齢者や障害をお持ちの方、並びに全ての有権者が安全で安心して投票が出来るよう努めていく。

②私たちの選挙では候補者名や政党名を書く「自書式投票」という方式が採用されているが、地方公共団体の議員や長の選挙については、条例によって「記号式投票」を採用する事ができるとされている。導入については先進地の事例等を基に研究・検討を行う。

③令和4年7月の参議院議員選挙から投票所を統廃合し10か所に見直した。「送迎対応」については統廃合を行った自治会（地区）を対象として、今後も実施する。他の地区の移動困難者への拡充については検討を進める。

町長①町では「代理投票」や「点字投票」等、高齢者や障害をお持ちの



会
清新
きむら
木村
主議員

問 ①学校運営協議会（コミュニティ・スクール）について

②小学校のあり方検討委員会について

答 ①協議を行い様々な意見を得た②児童数の違いにより学校と保護者の意識の違いが課題

質問①コミュニティ・スクールは、奥多摩中学校で平成29年度、古里・水川小学校で平成30年度に導入した。この制度は学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映し、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みである。この制度の導入により反映されたこと、経過状況と今後の運営方針について問う。

②小学校のあり方検討委員会がこの9月に設置され、協議内容が現状の課題等となっているが、現段階での課題はどのようなことか。そしてこの検討委員会の検討スケジュールについて問う。

教育長①コミュニティ・スクールの導入目的は、保護者及び地域の方々の学校運営への参画の促進や連携強化を進めることにより、学校との信頼関係を深め、学校運営の充実・改善や児

童・生徒の健全育成を推進すること。委員の主な役割は①学校運営の基本方針の承認②学校運営に関する意見③教職員の任用に関する意見④学校支援活動の総合的な企画・調整⑤学校予算の編成及び執行への意見⑥施設管理及び施設設備等の整備への意見。これらのことについて協議を行い、様々な意見を得た。今後も引き続き学校運営や支援を推進していく。

②小学校のあり方検討委員会の現段階の課題は、古里・水川小学校の児童数の減少率が大きく異なること。児童数の違うことにより、学校の運営状況や保護者の意識が違うことである。委員会のスケジュールは、今年度4回程度行う予定。今後さらに人口減少した場合、統合や統合しないための協議を行う（仮称）新たな奥多摩教育検討委員会」の設置基準や委員構成案などについて協議する予定である。会議内容は原則公開する。



清新会 原島 幸次 議員
ゆきつぐ 幸次 議員

問 災害弱者の逃げ遅れの防止について

答 町内関係機関及び地域住民と連携を図り「個別避難計画」の作成を進めていく

質問令和3年5月20日付で、災害対策基本法の一部を改正する法律が施行され、災害時に大きな被害を受ける障害者や高齢者など自分で逃げる事が難しい人に関しては、個別の避難計画を作成するよう市町村に努力義務が課せられた。政府は東日本大震災を受け、2013年に災害弱者の名簿作成を市町村に義務付け、個別の避難計画作成を呼びかけた。自治体は、本人や家族、福祉関係者、地域住民らと丁寧に協議し、避難計画の作成を進めることが必要である。当町の状況について。

①災害弱者の名簿は作成されているか

②個別の避難計画は作成されているか

③地域が一体となって災害弱者を支援する体制づくりは

町長①町では、平成23年度災害時要援護者マップ整備事業として、災害



時の避難行動に際し支援を要する者の名簿を作成した。

②災害はいつ何時発生するか分からない。「個別避難計画」の作成について優先度の高い避難行動要支援者の範囲及び作成目標期間を地域防災計画に定め、今年度から計画を作成するよう所管課に指示した。

③町では、避難行動要支援者への支援に係る関係機関として、青梅警察署、奥多摩消防署、民生児童委員連絡協議会、社会福祉協議会、自治会連合会、消防団等地域が一体となって支援する体制づくりを構築している。



公明党 宮野 亨 議員
あきら みやの 亨 議員

問 1 サニタリーボックスを男性トイレにも設置を 2 心の豊かさや幸福度について

答 1 観光用公衆トイレの「誰でもトイレ」に設置する 2 効果的な方法を検討、町政運営に活かしたい

質問1前立腺がん等の病を患った男性らが使用済みの尿漏れパットなどを捨てる場所がなく、困るケースが生じている。ぜひ設置を。

質問2今現在、コロナ禍及びウクライナ情勢を受け、何が幸せと感じられるのか、改めて問う。①町民の心の豊かさを察するとしたらどのように考えるか②町政運営に反映させる考えはあるか

町長1調査の結果、男子トイレに設置していない状況。設置により観光ごみの放置が増える懸念がある。多様性に配慮し、観光用公衆トイレの「誰でもトイレ」にサニタリーボックスを設置する。個室への設置については観光ごみの放置問題、清掃作業員の負担増の課題があり、今後の利用実態やニーズを踏まえ判断する。

町長2①第5期長期総合計画におけるまちづくり指標として「奥多摩型住民総幸福度」を定めている。5つ

の幸福要素を設け、令和元年度に「まちづくり住民アンケート調査」を実施。その2年前のアンケート結果と同等か数ポイント上回るものであった。今後、こういった方法が効果的なのか検討する必要があると考える。②町では、平成25年度に「住民の幸福度実感向上を目指す基礎自治体連合」通称「幸せリーグ」に参加している。この幸せリーグでは、自治体の実務担当者による会議を開催し、政策に関する議論を通じて行政サービスのレベルアップと、新たな発想や施策の創意工夫など、職員の政策形成能力の向上を図っている。こういった自治体間の連携も図りながら、町政運営に活かしていきたいと考える。





山なみ会
こやま たつみ
小山 辰美議員

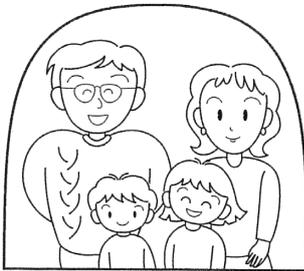
問 人口減少に負けない奥多摩町を目指して

答 魅力あるまちづくりを進めていく

質問 令和2年12月、町の人口は5000人を割り、7月1日現在は4815人だ。毎年100人前後の減少があったが、町は「少子化対策」を推進し人口減少を抑制している。人口が減少しても、人も町も元気で住みたい住み続けたいと思える町であれば良いと思う。「少子化対策」の推進とともに「観光を元気にする・住民力を活かした町づくりをする・地域の絆を深める・高齢者が暮らしやすい環境を整える」などが大切である。町は「人口減少に負けない町」をどのように捉えているか。その実現のためにどのような施策が考えられるか。

町長 町としても、今後も人口が減少していく傾向は、現実的に避けられないものと想定している。そういった状況下でも地域コミュニティや住民皆様の生活が維持出来るよう努めていかなければならないと認識している。

そのためには、人口減少や過疎が必ずしも悪いことだけではなく、これからの時代のライフスタイルにも合致することや町固有の価値やメリツトについて広く発信するとともに、住民皆様にも町の良さを改めて知っていただき、前向きな気持ちになれるようなまちづくりが必要であると考えている。減少していく人口に対しては、少ない人口規模でも地域コミュニティや生活が成り立つ具体的な施策を考えなければならぬ。町としても、人口減少に負けない魅力あるまちづくりを進めていく。



問 奥多摩町の庁舎建設、将来像、シビックプライド、ローカルアイデンティティ、SDGsについて

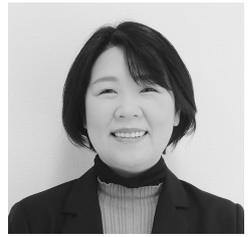
答 庁舎建設委員会の住民委員は3名、女性参画比率は25%



どんぐり
いとう ひでと
伊藤 英人議員

質問 2015年策定の長期総合計画基本理念や2005年策定の『豊かな自然環境を守り、健康で安心して暮らせる町を後世に継承するための活動推進宣言』は、町の魅力、将来像を正確に捉え伝えている。住民が地域に誇りや愛着を持ち貢献したいと思う気持ちをシビックプライド、地域の個性をローカルアイデンティティといい、まちづくり委員会によるマナーアップ啓発事業は、これらが発現した好例といえる。全国的、世界的な大きな情勢変化の中で、町も庁舎建設という大規模事業が検討段階に入り、町の将来のあり方を決定づける妥協のできない時機にわれわれは臨んでいる。

①庁舎建設委員会の住民委員の人数、女性参画比率は、
②奥多摩町を訪れる人々と住民とが交流する環境イベントの実施は、
③「SDGsアワード西多摩2022」で、奥多摩町のクリーンキープーOPT（オピト）の取組が最高賞となり、受賞者座談会では「ひとつづくり」への言及が多い。
奥多摩町のまちづくりひとつづくりの官民協働の取組である、まちづくり委員会事業・まちづくり推進事業はシビックプライド、ローカルアイデンティティ醸成に有効である。支援強化を。
町長 ①庁舎建設委員会の住民委員は3名。委員16名のうち、女性委員は4名で参画比率は25%。
②環境イベントの実施の予定はない。セラピーウォークなど自然を活かしたイベントを行っていて、基本的にこれからもおくとま地域振興財団を中心に、森林セラピー事業を推進する。
③支援強化等の検討は、まちづくり委員の意向を含め、委員会で協議する必要がある。



幸福実現党 宇宙会
もりた のりこ
森田 紀子議員

問 奥多摩町における外国人施策について

答 関係機関の協力を受けながら外国人との共生社会の実現を目指していきたい

質問 2022年8月1日現在、奥多摩町には67人の外国籍の方が暮らしている。人口比率は1.4%で、高齢化率が51%を超える町にとって、この比率は決して無視できないものだと思う。

奥多摩町で特徴的だと思うことが、在住する外国籍住民の多くが技能実習生であり、貴重な労働力として、町内の福祉施設や建設現場で働いている。技能実習生のような外国人は、労働力人口の減少が加速する中、今後ますます増えていくことが予想され、町を支える貴重な働き手となりえる。しかし現在、奥多摩町には、外国籍住民に対応する特定の窓口がない。また、町内には国際交流協会のような団体もないため、外国籍住民のサポートは、受け入れ企業や各家庭が担っている。今後、外国人との共生社会を実現するために、町はどのような対応を考

えているのか。

町長町では、外国人住民に対する相談窓口は設置していないが、東京都が作成した多文化共生推進に係る各種発行物を技能実習生やEPA 介護福祉士候補生の就労先である介護老人福祉施設等に配布して活用を図っている。転入等の手続きは、住民課の総合窓口係で対応しているが、ほとんどの外国人が最低限の日本語を話せる状況にある。

また、日本語でのやり取りが困難な外国人が来庁するケースも稀にあるが、その際は、就業先の事業者が付き添ってくる場合や町側でGoogle翻訳を活用してコミュニケーションを図りながら、手続きを行っている。町としては、東京都の施策を活用するとともに、技能実習生等については、受け入れ先事業者や関係機関の協力を受けながら、外国人との共生社会の実現を目指していきたい。



日本共産党
おおさわ ゆかり
大澤由香里議員

問 治療と仕事の両立支援について

答 職員からの申し出や相談等が円滑に出来るような職場の環境づくりに努めていきたい

質問 疾病を抱えた職員が治療と仕事を両立出来るようにするため、厚生労働省は適切な就業上の措置や配慮、関係者の役割、環境整備、個別の労働者への支援の進め方をまとめたガイドラインを発表している。ガイドラインでは、本人からの申し出が円滑に行われるよう環境整備が重要であると示しているが、町ではどのように環境整備がされているのか。

- ①事業場内ルールの作成と周知
- ②労働者や管理職等に対する研修による意識啓発
- ③相談窓口や情報の取扱方法の明確化

町長 ①職員の福利厚生を図ることを目的として、「厚生制度」と「共済制度」を規定しており、職員の職場における「安全管理」及び「衛生管理」に關し、必要な事項を定めている。「福利厚生制度」や「安全衛生規程」など

の必要事項は職員に周知がされている。②毎年度4月に行われる「課長会議」にて、前年度実施した「職員の健康診断」、「ストレスチェックの結果」、「時間外勤務の状況」及び「年次有給休暇や振替休暇の取得」について説明し、各課長・係長職については、職員の健康状況・管理等について注視するよう指示している。また、令和2年度に、「パワーハラスメント」のオンライン研修講座を職員研修として実施した。③「総務課長」及び「庶務係」が職員の窓口となり相談対応を行なっており、更に必要な状況が生じた際には、「衛生管理者」を通じて「産業医」への受診や医療機関への受診に繋がっている。いずれにしても職員が健康で元気に、仕事と生活の調和のとれた働き方ができるよう、引き続き、職員からの申し出や相談等が円滑に出来るような職場の環境づくりに努めていきたい。

議 会 日 誌

8 月

- 1 日 庁舎建設説明会
- 2 日 都議会予算要望
- 3 日 海外派遣事業壮行会
- 3 日 決算審査
- 5 日 決算審査
- 8 日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第 3 委員会
- 15 日 西秋川衛生組合議会臨時会
- 15 日 戦没者追悼式
- 19 日 秋川流域斎場組合定期監査
- 19 日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会陳情行動
- 25 日 例月出納検査
- 30 日 議会運営委員会
- 3 日 青梅・奥多摩交通安全の集い
- 6 日 町議会第 3 回定例会
- 7 日 町議会第 3 回定例会
- 9 日 経済厚生常任委員会
- 9 日 町議会第 3 回定例会
- 13 日 決算特別委員会
- 14 日 決算特別委員会
- 16 日 議会運営委員会
- 16 日 町議会第 3 回定例会

10 月

- 17 日 海外派遣事業帰国報告会
- 22 日 例月出納検査
- 23 日 古里小学校運動会
- 30 日 庁舎建設委員会
- 30 日 新型コロナウイルス感染症対策本部会議
- 1 日 氷川小学校運動会
- 5 日 青梅・奥多摩防犯のつどい
- 6 日 議会だより編集委員会
- 7 日 西多摩地区議長会定例会議
- 7 日 西多摩地区議長会議員研修会 (オンライン開催)
- 10 日 子ども国際交流音楽祭
- 11 日 奥多摩交流コンサート
- 16 日 奥多摩スポーツフェスティバル
- 16 日 山ふる音楽祭
- 17 日 特定事案検討委員会
- 18 日 東京都道路整備事業推進大会 (書面開催)
- 20 日 例月出納検査
- 21 日 (一社) 青梅青年会議所設立 55 周年記念式典
- 22 日 庁舎建設委員会
- 22 日 福祉大会
- 24 日 井上利則氏藍綬褒章受章祝賀会
- 24 日 秋川流域斎場組合議会定例会
- 26 日 西秋川衛生組合議会定例会
- 26 日 町村監査委員全国研修会
- 28 日 千葉県大多喜町行政視察
- 29 日 奥多摩ふれあいまつり
- 31 日 青梅商工会議所臨時議員総会

次回 12 月第 4 回定例会日程 (予定)

議会運営委員会 11 月 21 日 (月)
 本 会 議 11 月 30 日 (水)
 12 月 2 日 (金)
 6 日 (火) 一般質問
 陳情受付期間 11 月 15 日 (火) まで

会議の予定は変更になる場合があります。詳細は、下記までお問い合わせください。

☎0428(83)2302 (議会事務局直通)

12 月定例会では、11 月 15 日まで
 請願・陳情は！
 に受理したものを審議します。それ
 以降の受付の場合は、次回定例会で
 審議することになります。提出する
 際は、次のことにご注意ください。
 ① 請願には必ず 1 人以上の紹介議員
 が必要です。(陳情は不要です)
 ② 請願・陳情者は、住所・氏名・電話
 番号を必ず記載し、署名(記名の場
 合は押印)してください。
 ③ 提出は議会事務局へご持参くださ
 い。(郵送不可)
 ④ 詳しいことは議会事務局にお問い
 合せてください。

^^お詫びと訂正^^

町議会だより前号
 (202 号)の 1 ページ、奥
 多摩中学校体育大会開
 催写真の紹介文中、「2
 年ぶり」は誤りです。
 お詫びして訂正いた
 します。

議会だよりのご感想をお寄せく
 ださい。
 また、議会に対するご意見ご要望
 等がありましたら、お気軽に議会
 事務局までお知らせください。



令和4年10月7日、西多摩地区議長会主催の研修会が開催され全議員で受講しました。



演題「SDGsの達成に向けた市町村議会の役割」(オンライン形式で開催)

町議会議員のメールアドレス一覧

伊藤 英人	o9tama018@gmail.com	澤本 幹男	o9tama024@gmail.com
森田 紀子	o9tama019@gmail.com	小峰 陽一	o9tama025@gmail.com
相田恵美子	o9tama020@gmail.com	石田 芳英	o9tama026@gmail.com
小山 辰美	o9tama021@gmail.com	宮野 亨	o9tama0027@gmail.com
木村 圭	o9tama022@gmail.com	高橋 邦男	o9tama028@gmail.com
大澤由香里	o9tama023@gmail.com	原島 幸次	o9tama029@gmail.com

※町ホームページ掲載のメールアドレスをクリックするとメール画面に接続されます。

監査委員からの指摘を受け、町議会では、町への積極的な要望等の収集に活用させていただくことを目的に、町民がより気軽に町政への要望を出すことができるように各議員のメールアドレスを公表します。

メールアドレスは、11月5日以降、町ホームページの議員名簿欄に掲載します。

編集後記

玄関の汚れが気になるのは、住人よりもお客さんのほう。

町の観光ゴミの問題について、観光客の方からお聞きした例え話です。住人には見慣れていても、来客にとってそこは初めての場所、初めてのもの。気になってしまいうし、玄関の印象がその家全体や住人の印象にまで影響します。逆に、住人にとってあまり魅力と思えないことが、来客の眼には貴重で素晴らしいものに映ることもあります。

ありふれているものたちの、何が価値で、何が課題か。足元にある魅力や問題に眼を向けてみると、町の将来の姿が見えるかもしれません。未来のためにはいま何をすべきかわかるかもしれません。まずは手の届くところから、例えば家の玄関からでも、まちづくりは始まります。

さあ、わが家の玄関もきれいにしたいと。



伊藤 英人(記)

森田 紀子 相田恵美子

木村 圭 小峰 陽一